

鍛錬坂



奈留高校
学校だより
第 95 号

三つの間

校長 下釜祐保



大事にしたい三つの「間」がある。それは、「時間」、「空間」、「人間」である。
「時間を守る」 この意味は、相手を尊重すること、このことは自分が信用を得ることにつながる。さしずめ、高校生にとっては約束の時間を守る、課題の提出期限を守ること。それは、自分のためでもあり、周囲の人のためでもある。やがて諸君が主役となる社会で生きていくうえでは最も大切にしたい。

「身の回りの空間を整える」 掃除をすることで、気づく人になれる、感動・感謝の心を育てる、そして他の為に尽くせる人物になれる。我が心を育てるには、身の回りを掃除するに限る。

「人間関係力を高める」 さわやかな挨拶と返事、そして服装を正すことは、礼を施すことである。「挨拶」という言葉は、心を開いて相手に迫るという意味である。挨拶をすれば人間関係が良くなり、しなければ悪くなる。挨拶のコツは、自分が先に、はっきりと、さわやかに、である。生活風紀委員会が呼びかけるワンストップ挨拶が自然な形でできるまで意識して取り組もう。

幼い頃から僕として教えられてきたことばかりだが、今日は、高校生としての解釈を加え実行しよう。凡事徹底こそが人間力を高める要諦であることを忘れてはならない。

月末から、高総体だ。勝負である以上は負けたくない。どのタイミングで打つか、どのポジションを取るか、どのような駆け引きをしかけるか…。まさしく「三つの間」を制することが、勝負の綾を握ることを確認して、高校生のスポーツの祭典「高総体」に臨みたい。

1学年より

入学してから約2カ月が過ぎました。1年生の皆さんは高校生としての自覚は芽生えつつあるでしょうか？5月になりゴールデンウィーク、部活動での島外遠征、第1学期中間考査など、高校生になって、初めての行事が目白押しでしたね。入学当初、文武両道を目標に掲げた人も少なくなかったはず。その目標と意志は継続中でしょうか？さて、いよいよ長崎県高総体が始まります。各校の高校生たちが1勝のために日々の厳しい練習で鍛え上げた技術・精神力全てを総動員させて母校の誇りを胸に戦います。1球、1秒、1点のために全力で臨む姿は、見ている全ての人たちに熱い感動を与えてくれます。1年生の多くの人はプレーヤーとしての参加はしませんが、しっかりとその姿を目に焼き付けておいてほしいと思います。奈留高校は今年も全校行進、全校応援を実施します。奈留高校ここにあり！！という姿を是非とも開会式の間で見せてもらいたいです。そしてバドミントン部の勝利を願って全力で応援しましょう！

2学年より

早いものでもう5月も終わりです。2年生は全員、4月から無欠席で元気に登校しています！そして容儀検査も全員合格を継続中です。この調子で一年間、いや、卒業まで過ごしましょう！さて、今月は連合音楽会や高校総体などが行われますが、2年生の生徒たちのうち、7名が出場します。活躍が非常に楽しみです。2年生になって最初の定期考査もありましたが、今回は一人ひとりが目標を立て、それに向かって日々の学習に取り組みました。さて、結果はいかに…。これからも「日々前進」を合言葉にさらに進化していきましょう！

『今日の7校時に専門委員任命式があり、2年生の約半分が司会や委員長に任命されていました。皆、自分の仕事をしっかりこなしているようで良かったです。』

『明日から中間考査です。今日は家に帰宅したら明日のテストの教科を死ぬ気で勉強したいと思います!!!最初のスタートを良い形で切りたいです。』 ～～ある日の学級日誌より～～

3学年より

いよいよ明日から高校総体が始まります。先週は吹奏楽部が連合音楽会に出場し、会場と一体になった演奏を披露してくれました。バドミントン部の生徒たちも悔いの残らない最高の試合をしてほしいと心から願っています。

さて、5月13日から中間考査が実施されました。ステージ1の目標の一つは「受験生に変身」です。中間考査へ向けた取り組みの中で受験生に変身できたでしょうか。成長の実感はあるでしょうか。高校総体終了後からステージ2に突入します。受験勉強が再スタートし、2組は放課後補習も開始されます。長い受験ロードが始まり、苦しいことが多くなるとはありますが、そんなときこそ部活動で培った体力や精神力で困難を乗り越えてほしいと思います。光り輝くゴールをしっかりと見据え、最後まで一緒に全力で走り続けましょう。

6月の行事予定



- | | |
|-----------------|-----------------|
| 5/31～6/2日 (土～月) | 県高総体 |
| 3日 (火) | 高総体代休 |
| 4日 (水) | 高総体報告会 |
| | 全学年早朝補習(中期)開始 |
| 5日 (木) | 3年放課後補習開始 |
| 7～8日 (土～日) | 3年対外M |
| | 3年就職模試③ |
| 14日 (土) | 2・3年県一斉模試・実力 |
| 19日 (木) | 期末考査時間割発表 |
| 17～23日 (火～月) | 奈留っ子の心を見つめる教育週間 |
| 26～7/2日 (木～水) | 期末考査 |

奈留っ子の心を見つめる教育週間

6月17日(火)～23日(月)、奈留っ子の心を見つめる教育週間として学校を開放し、学校生活や授業風景を見学できますのでぜひ足を運んでください。主な行事としては、授業参観や18日(水)5～7校時の時間帯でAED講習会を予定しております。

平成 26 年 度 P T A 総 会 ・ 体 育 文 化 後 援 会 総 会

5月11日(日)本校体育館におきまして、平成26年度PTA総会・体育文化後援会総会が行われました。ご多忙中、多くの出席をいただきましてありがとうございました。今後も奈留高校へのご支援・ご協力よろしくお願いたします。

合同歓迎遠足

4月25日、宮の森総合運動公園で小中高合同歓迎遠足が行われました。この行事は一番最初に行われる合同行事です。小中高生が楽しく交流できるよう、今年度は中学校と高校の生徒会執行部が協力して準備を行いました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちの笑い声が響く、楽しい遠足となりました。

はい！チーズ!!!



避難訓練

5月19日(月)、避難訓練を行いました。この行事を通して、生徒は火災や災害時の避難経路の確認と、避難方法を学びました。職員は、役割の連携方法や連絡方法、生徒の安全確認を行いました。訓練ではありますが、全ての生徒・職員が緊張感を持って訓練に臨みました。消防署の方からは高総体等で、ホテルなどに宿泊する時は避難経路の確認を必ず行うように指導がありました。

その後の消化器訓練では、消化器の使用方法や消化の仕方を学びました。不測の事態が起きた時こそ、冷静な判断のもと行動するようにしました。



奈留高職員

籾原優作先生



初めまして、籾原優作です。毎日の学校生活は楽しく、また日々が勉強でもあります。バスケが得意で全国大会や国体にも出場しました。趣味は、漫画です。そこで井上武彦さんの『スラムダンク』から名言を借り、私の言葉とします。

「あきらめたらそこで試合終了ですよ。」 By 安西先生

生徒の皆さんは困難という壁にぶつかったときどうしますか？乗り越えるのを諦めますか？率直に言いますが、諦めないでください。壁をぶちこわしてもいい、回り道に行ってもいい、はしごを持ってきてもいいんです。私は全力で壁を壊すハンマーやはしごの役割を全うしたいと思います。まだ若輩者なので力になれるかわからないのですが、一生懸命やりますのでよろしくお願い致します。

企業訪問報告

【本校卒業生の主な就職先の情報】



企業名	倍率 (昨年度)	求める人物像・その他の情報
トヨタ自動車株式会社	約1.2倍	たくましい人材(健康は必須条件)。引っ込み思案は×。明るく元気があり、年長者にも自ら進んで教えを讀み積極性と、礼儀正しさを持っている。高校では是非熱心に部活動に励んでなくまじきと人間性を磨いてほしい。
山崎製パン株式会社	約1.3倍	事業内容をよく理解していること。健康、体力に自信があることはもちろん、厳しい仕事に耐える忍耐力と、職場の人と円滑に仕事を進めることのできる協調性を有していること。
株式会社シンダイ	約2.0倍	会社の事業、技術に理解があること。またそれに誇りを持って働くことができる人。健康でガッツがあり、未経験の仕事にも進んで手を上げるような積極性と気概のある人。
三菱重工業株式会社 長崎造船所	約1.5倍	現場の厳しい指導に耐えるメンタルの強さ。安定志向や親の勧め等で受験しても×。「働くこと」にシビアな考えを持ち、自身の強い信念を持って努力できる人。
マツダ株式会社	約1.3倍	会社の理念に共感し、会社と自分の成長のために粘り強く挑戦し続けられる。協調性があり、困難に向き合う忍耐力、困難を打破する強い意志(主体性)がある。
株式会社 大島造船所	約1.5倍	学業に部活に、一生懸命な高校生活を送ってきた人。上下関係、礼儀をわきまえていて、協調性がある人。状況を見定めて臨機応変に対応できる柔軟性がある人。
名古屋市医師会	推薦:約1.3倍 一般:約3.4倍	※病院勤務をしながら、看護学校で学ぶ(AM勤務→PM学校、またはPM学校→夜勤など)。高い志をもって、学業と仕事の両立を実現できる人。

【企業訪問を終えて】上記企業を含む10社11事業所を訪問させていただきました。どの採用担当の方も共通して仰ることは、「くじけない強い心」と「困難に果敢にチャレンジする積極性を持つ人材」にきてほしいとのこと。できることをただやる、それだけでは社会の要求する力は身につけません。日々の学校生活で、常に向上心をもって成し難い事を成すガッツを磨いてほしいと思います。また、ある採用担当の方はこのようにも仰っていました。

「18歳はもう大人ですから体調管理はできて当たり前。その他、礼儀作法や身の回りのこと位は身につけて入社してほしいものです。」当然のことながら、高校卒業と同時に自動的に社会人としての素養が身につくわけではありません。在学中から徐々に社会人へと変貌を遂げて行かねば間に合いません。ご家庭でも是非、お子様を“社会の一員”としての視点で見つめ、ご指導いただければと思います。なお、上記に掲載以外の企業についてのさらに詳しい情報、その他企業の情報をお知りになりたい方は、進路指導部担当までお尋ね下さい。